

医療的ケア児と家族支援を考える会

～「時には懺悔を」病院での視聴と、映画関係者とのミーティング～

日時：2026年10月22日（木） 18時30分から

場所：大阪市立総合医療センターさくらホール

対象：医療・教育・福祉の関係者、その他希望があればどなたでも応募下さい

入場無料、自由席（お手伝い等を希望される方は下記に記入ください）

プログラム：

18:00 開場

18:20 趣旨説明（岡崎伸：小児脳神経言語療法内科）

18:30-20:39 「時には懺悔を」の劇場外上映を行います。

20:39-21:00 映画関係者とのミーティング（映画関係者はzoomで参加）

事前申込みのご案内

事前申込制

入場無料・自由席

お申込みは先着順
下のQRコードからお進みください



申込フォーム（QRコードと同じものです）

[https://forms.gle/](https://forms.gle/HpoSNzunX3UUTw8w8)

[HpoSNzunX3UUTw8w8](https://forms.gle/HpoSNzunX3UUTw8w8)

※お手伝いをご希望の方も
申込フォームにご記入ください



『下妻物語』『告白』など、その圧倒的な映像美や先鋭的な演出で、新作を発表する度に日本映画界に衝撃を与えてきた中島哲也監督が、打海文三による傑作ミステリー小説を映画化。この原作と出会って18年、これまでも人間の業を独自の視点で描いてきた中島監督が、8年の沈黙を破りついに再始動。主演の西島秀俊をはじめ、満島ひかり、黒木華、宮藤官九郎、柴咲コウ、佐藤二朗、そして役所広司。日本映画界の至宝たちが、この「奇跡の物語」を届けるために集結した。

原作が描いた世界、そして監督・スタッフ・キャスト・スペシャルニーズのある出演者や家族をはじめとする関係者…本作の制作陣の覚悟と圧倒的な熱量、それをエンターテインメントに昇華させて描かれた魂を震わせる唯一無二の感動傑作『時には懺悔を』が、ついにペールを脱ぐ。



STORY —— 探偵がひとり、殺された。「死んだほうがマシな人間」と呼ばれた男・米本(佐藤二朗)。調査することになったのは、元同僚の一匹狼・佐竹(西島秀俊)と、助手で修行中の聡子(満島ひかり)。調べを進めるうちに、9年前に起こった新生児誘拐事件にたどり着く。殺された米本が死の間際に調査していたのは、9年前に失踪し今は父親の明野(宮藤官九郎)と二人で暮らす、重い障がいのある少年・新。過去に傷つき、誰かを傷つけ、孤独に彷徨う大人たちが出会った「新」という小さな命。家族から目を背けた男、娘に捨てられた女、子を生きる糧にした男、産んだ子を愛せなかった女。「生きているのが奇跡」と言われたそのひとつの小さな命が、逃げ場のない現実にもがき苦しむ大人たちの心を動かしていく。

傷ついた心を照らしたのは、「ひとつの小さな命」。
その光は、あなたを包み込む——

8.28 FRI ROADSHOW

あなたが人生で 出会ったことがない 映画。



映画盗撮は犯罪!
発見したら
www.eigakan.org
0120-550098

